

刑 法

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は 1 枚だけ配付します。
- III 解答にあたっては、黒のボールペン・黒インクのペンのいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1 行の場合には横線で消して、その次に書き直してください。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 設問が複数の場合は、解答用紙に設問番号を明記したうえで、解答してください。設問番号の記入がない場合は、無効とします。
- VI 試験時間は 80 分です。
- VII 問題は 1 ページにあります。

刑 法

ラグビーで鍛えた屈強な肉体を誇る X は、帰宅途中に歩道上に設置されたごみ集積所において、自転車にまたがったままごみを捨てている Y を見かけたが、あまりにも不審なその姿が気になり、声をかけたところ言い争いになった。X はいきなり Y の右ほおを手拳で殴打し、直後に立ち去った。激昂した Y は自転車で X を追いかけて、上記現場から約 70m 進んだ歩道上で X に追いつき、自転車に乗ったまま水平に伸ばした右腕で後方から X の首付近を強く殴打した。X は、この攻撃により前に倒れこんだが、すぐさま態勢を立て直し、自転車に乗ったまま更にペダルを踏みこんで自転車ごと自分に突っ込んでくるそぶりを見せる Y に全力で飛び掛かって組み付いたところ、Y は後方に転倒して後頭部を打ち、加療約 3 週間を要する傷害を負った。

Y が後方に倒れこむとき、X は全く気付いていなかったが、ちょうどすぐ後ろを甲が歩いており、倒れこんでくる Y とその自転車に巻き込まれる形で一緒に転倒し、運悪く Y の自転車のスポークが折れて、甲の首に突き刺さり、甲は首の静脈等を損傷して多量の出血を来した。甲は直ちに止血のために緊急手術を受けていったんは容体が安定し、医師は良好に経過すれば加療約 3 週間であるとしていたが、その後甲が治療用の管を抜くなどして暴れた結果、容体が急変し、5 日後に頭部循環障害による脳機能障害により死亡した。

X の罪責について論じなさい。